

塩治コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837

メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

No.214 [2024年 9 月 25 日発行]

塩治地区の世帯数と人口

令和 6 年 8 月末現在

世帯数 7,398 世帯

人 口 15,482 人

(男) 7,546 人

(女) 7,936 人

塩治幼稚園



出雲二中合唱部



綿貫ゆか歌謡ショー



ステージのパフォーマンスを大勢の人が楽しめました

島根大学医学部

シニールカメラート管弦楽団



神楽



(塩治小学校PTA・塩治クラブ提供)

響きわたる歌声と楽しいトークで
会場が盛り上がりしました



第31回

5年ぶり開催！

塩治ふれあいまつり

8月3日(土)



猛暑の中
元気な子どもたちの
声で賑わいました



第31回塩治ふれあいまつりを終えて

実行委員長 板倉 正 美

新型コロナウイルス感染症が発生し4年間、塩治ふれあいまつりを中止してまいりました。その間、なんとなく地域の分断が進んだように感じました。もう一度原点に立ち返り塩治町に居住する皆さん一人ひとりとふれあいを通じ、絆を深めたいという思いがあり、今回5年ぶりに開催の運びとなりました。

当日は、熱中症警戒アラートが発出されるほどの暑い一日となりました。そのような中、たくさんの来場者を迎え大過なく盛大に開催することができました事は、町内の皆様方のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

来年度に向け、今年の実省を踏まえさらに魅力ある「塩治ふれあいまつり」にしていきたいと思ひます。皆様方のご協力よろしくお願ひいたします。

こんな事業を行いました！-自主企画報告-

多くの皆様にご参加いただき、
ありがとうございました！

サタスク開校式

5月11日(土) 青少年部



今年で23回目となるサタデースクール開校式を行いました。

カンフー・銭太鼓・キッズダンス・囲碁の4教室に子供たちが参加します。来年の2月までみんな仲良く、楽しく練習に励みましょう。



区民ハイキング

まちづくり部

5月24日(金)

27名が参加して区民ハイキングに出かけました。コミセンからバスで出発し金剛峯寺大坊を訪ね、そこから吉祥姫の五輪塔、立巖トンネルの前を歩いて岩根寺までの2.2kmを歩きました。

汗ばむほどの好天でしたが、大坊から立巖トンネルまでの山道は木陰と吹き抜ける風が心地良かったです。参加された方は、季節の草花や参加者同士の交流を楽しまれた様子で、「新緑を楽しみながら歩いて良かった」「遠い昔のロマンを感じた」との感想がありました。



廃食油石けん作り

女性部

6月9日(日)

毎年恒例の教室です。今回は塩冶小学校で環境のことを勉強されている3・4年生にも募集をかけ、地域の方と小学生の親子さん、女性部部員の30名でにぎやかに行いました。参加者からは「環境問題を考えるきっかけになった」「混ぜるのは大変だったけど楽しかった」との感想をいただきました。ゴミに出さずにリユースできることを伝えるよい機会となりました。



EMぼかし作り

まちづくり部

6月21日(金)

EMぼかしは、もみ殻、米ぬか、糖蜜等にEMを混ぜ合わせて発酵乾燥させたもので、生ごみに振りかけて発酵させることで、有機肥料を作ることができます。9名が参加し、2グループに分かれてEMぼかしと発酵液を作りました。お互いの活用方法について、楽しく会話しながら手際よく作業を進めることができました。

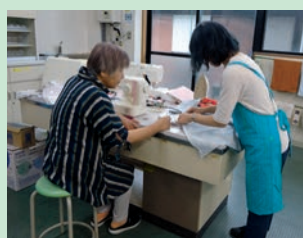


鍋帽子作り

まちづくり部

6月23日(日)

鍋帽子®とは、火からおろした鍋にかぶせておくだけで料理ができるという、ガス・電気・時間・環境などの節約ができる保温調理グッズです。大社友の会4名の方を講師にお招きし、鍋帽子®を作りました。参加者5名と少人数でしたが、みなさん真剣な眼差しで集中モード…。おかげで時間内に完成することができました。昼食時には鍋帽子®で作ったプリンをいただきました。市販のものより格安で作れて美味しいことに感動しました。



ふるさと探訪

まちづくり部
7月3日(水)

バスに乗って参加者スタッフあわせて30名で、島根原子力発電所の見学へ出かけました。

福島第一原発の事故から約12年間発電ができていない状態ですが現在、2号機の再稼働に向けて今年中の運転再開を目指しているそうです。12年も経つと未経験の運転員が増えているため、日々操作等の訓練を続けているということでした。事故を起こさないための安全対策工事は、地震・津波・竜巻などあらゆる災害に対処できるしっかりとした対策だという印象を受けました。



食を学ぶ ～簡単パン作り体験～

女性部

7月9日(火)

ルパン教室講師の矢野美伸さんをお招きし、地域の方15名と女性部部員7名で「簡単パン作り体験」をしました。一次発酵した生地を丸めて作るころから始め、パン2種類（マヨネーズパンとロールパン）を成形し、発酵を待つ間にチョコチップクッキーも作りました。パンが焼きあがった時のにおいが部屋に充満し、みんなが幸せな気持ちになりました。手作りすることで食に親しみ、参加者同士の交流の場にもなり楽しい時間を過ごすことができました。



ふしぎ発見バスツアー 7月28日(日)

青少年部／共催：塩冶地区青少年ネットワーク

児童と保護者、スタッフ合わせて31名が参加し、荒神谷遺跡とトキ飼育センターに行きました。ボランティアガイドさんによる荒神谷遺跡発見の説明後、ラリー形式のクイズや火おこしを体験。児童たちは、トキ飼育センターでは保護増殖の難しさなどの話に興味深く聞き入っていました。

熱中症が心配される猛暑日でしたが、「暑かったけど楽しかった」「また『火おこし』がしたい」「トキの飼育についてもっと詳しく知りたい」などの感想がありました。



和布で壁飾り作り

女性部

9月4日(水)

昨年のつるし飾り作りに引き続き、講師に高野松子さんをお招きして古帯をリメイクしたタペストリー（壁飾り）を作りました。参加者20名が小花と小さい座布団をそれぞれ3個ずつ作り、粋な壁飾りができました。先生が丁寧に指導してくださり、おしゃべりしながら和気あいあいと制作し、参加者からは「とても楽しい時間だった」「また是非参加したい」と好評の会でした。今年も文化祭に出品する予定なので是非みなさんもお覧ください。



島根大学医学部看護学科 3年生 看護学実習

5月29日(水)

島根大学医学部看護学科の3年生32名が、看護学実習のため塩冶コミセンでフィールドワークを行いました。

塩冶地区の特徴や、生活の様子についての話の後、学生たちはグループに分かれ、コミセン職員や地域の方へのインタビューを実施。

- ・仕事と健康との両立
- ・働き盛り世代の生活や健康管理の状況
- ・生きがいや健康の秘訣
- ・地域のつながりや助け合い、困っていること

など、様々なライフスタイルや健康に関する価値観を聞き、今後の課題や地域での看護の役割を考える機会となったようです。





神等去出神事（「古代出雲文化展」より）

間、われ等、神様の邪魔に
ならないよう家

陰暦の一〇月（今の十一月）は、全国の八百万の神々が出雲に集まっています。神議（神様の会議）が開かれます。この会議は神在祭（お忌みさん）と呼ばれています。出雲以外では神様がいないので神無月となります。神在祭の最初の神事が「神迎え神事」で、平成一四年は十一月一四日夜、稲佐の浜に打ち寄せられた龍蛇を先導役に、神迎えが執り行われました。出雲大社に集まった神々は、

「からさでさん」余話

えんや物語

第16号

平成14年12月発行
塩冶コミュニティセンター
文化部
題字 方代順子氏

今号の『えんや物語』
全国の神々が出雲に集う神在月（旧暦十月）の伝承。出雲大社で縁結びの会議を終えた八百万の神様が去っていくのをお見送りする神事を「神等去出」と言います。「お忌みさん」とも呼ばれるこの時期、出雲ではどのように過ごしていたのでしょうか。
今号では、『からさでさん』余話を掲載します。
なお、今号掲載の原稿は、一部修正しています。

に籠もり、歌舞音曲はもちろん、針やばさみを使うこともやめ、普請も中止し忌み慎みの生活をします。このことから神在祭を「お忌み祭り」とも呼びます。
出雲大社での一週間の神在祭が終わると、神々を送る「神等去出神事」が行われ、大社での神事は終わります。しかし、十一月二〇日から二十五日までの佐太神社での神事が残っています。それまでの間、神々はお雲の国の主要な神社を廻られるよう、各所にお忌みさん、からさでさんとして語り伝えられています。
出雲の国での一連の神事の締めくくりは、二六日に万九千神社で行われる神等去出神事です。人々は、全国の神々にお参り出来ると、朝から賑わい出店もあって、蜜柑の苗木等を買いたい求めたものでした。夕暮れ近く神社では、梅の小枝で扉を三度たたき「お立ち お立ち 神立ち お立ち」と告げます。これを合図に人々も出店も潮が引くように引き上げます。境内が静まると神々の最後の直会が始まります。この饗宴は歌や踊りで相当盛り上がるようです。あまりの賑わいにつられて覗見をした人の眼がつぶれたとか、外で用便をし、カラサデババアの冷たい手でお尻を撫でられたとか、この夜人々は家にひそんで、忌み慎みの生活をしました。
神々は夜明け前に神立橋から旅立たれ、早朝の拝殿には直会のなごりか、柴の葉が散っているそうです。
（文化部 落合）

ようこそ 塩冶コミセンへ！

中学生職場体験 9月11日(水)～13日(金)



職場体験で出雲市立第二中学校の3年生2名がコミセンを訪れました。3日間で受付作業や清掃活動などを体験。

慣れない作業に根気よく取り組んでいました。また、塩冶小学校2年生の生活科学習や地域のグループ「いきいきUP健康教室」「料理やろう会」に参加し、交流を深めました。

塩冶小学校2年生活科 9月12日(木)

塩冶小学校2年生の児童が生活科の学習でコミセンにやって来ました。元気よく挨拶をし、センター長の話を真剣な眼差しで聞いていました。



塩冶体育協会から「塩冶スポーツ協会」に名称が変わりました

体育協会の名称をスポーツ協会に統一化して、一つのまとまりあるスポーツ団体として継続・発展していきたいとの、国や島根県、出雲市などの上部団体の方針を受け、名称変更することとなりました。（R6.5.21総会で可決）

ご寄贈お礼

本のご寄贈



小村美恵子さんから「出雲・雲南の100年」、周藤征一さんから「石鼎と出雲の俳人たち」をご寄贈いただきました。本は図書室に置いてあります。ご覧ください。

出雲市更生保護女性会 様
雑巾(10枚)



ありがとうございました

今後の予定

9月29日(日)	塩冶地区体育大会
10月4日(金)	大人の社会科見学
10月4日(金)	鍋帽子料理教室
10月15日(火)	区民ハイキング
10月22日(火)	人権講演会
10月26・27日(土・日)	文化祭
11月12日(火)	多肉植物で寄せ植え
11月19日(火)	ふるさと探訪
11月25日(月)	そば打ち講習会
11月28日(木)	こんにゃく作り
12月8日(日)	えんやっ子フェスタ
12月18日(水)	豆腐作り
12月28日(木)	仕事納め